

【LGBTに関する企業の意識調査 Vol.1】結果報告

63%が「LGBTであることがわかっていても採用に影響しにくい」と回答。

総合転職エージェント株式会社ワークポート(東京都品川区、代表取締役社長 CEO：田村高広)は、ワークポート取引企業 272 社に向けて実施した『LGBTに関する企業の意識調査』の結果をお知らせします。

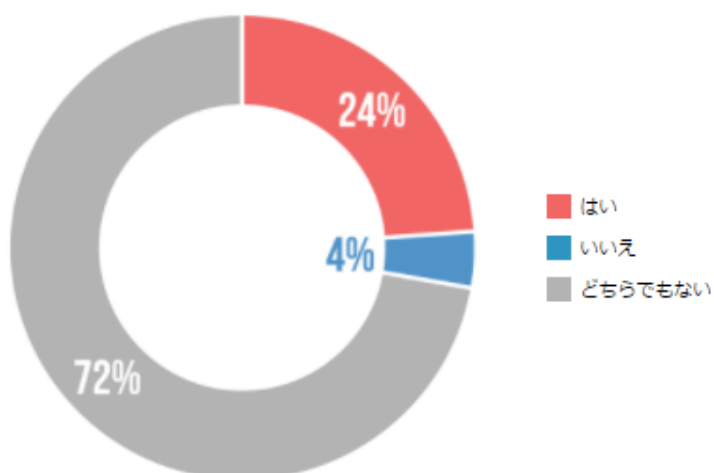
【調査結果 概要】

- LGBTの採用やLGBT社員の支援をすることは積極的にすべきと回答する企業は24%
- 採用選考時にLGBTであることがわかっていても、63%が採用に影響しにくいと回答
- LGBT関連でこれまでに社内的な問題を感じたことがあると回答した企業は6割を超えるが、現在LGBTに関する取組みが必要だと感じる企業は33%

【調査結果 詳細】

▼LGBTの採用やLGBT社員の支援に否定的なのは4%のみ
積極的に支援すべきだと回答したのは24%でした。また、72%が「どちらでもない」と回答しましたが、完全に否定的な意見は4%のみという結果となりました。

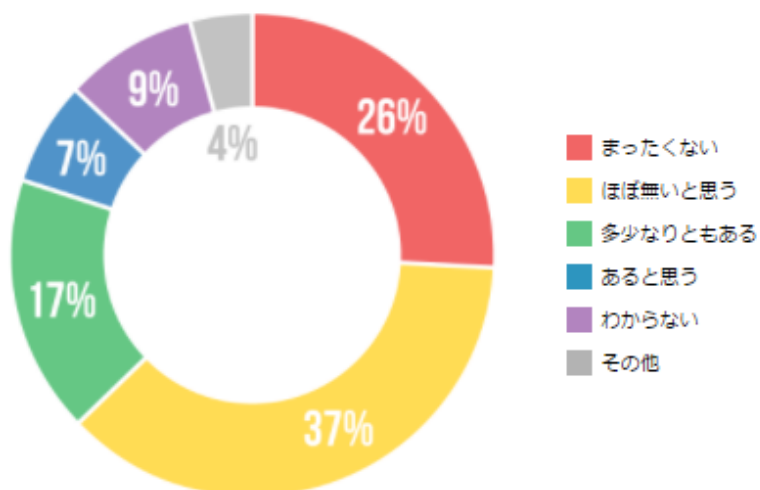
LGBTの採用やLGBT社員の支援をすることは積極的にすべきだと思いますか？



▼63%の企業がLGBTであっても採用に影響しにくいと回答

採用選考時にLGBTであることがわかった場合、「採用に影響はまったく無い」と回答した企業は全体の26%、「ほぼ無いと思う」と回答した企業は全体の37%で合計63%が採用に影響しにくいと回答しました。

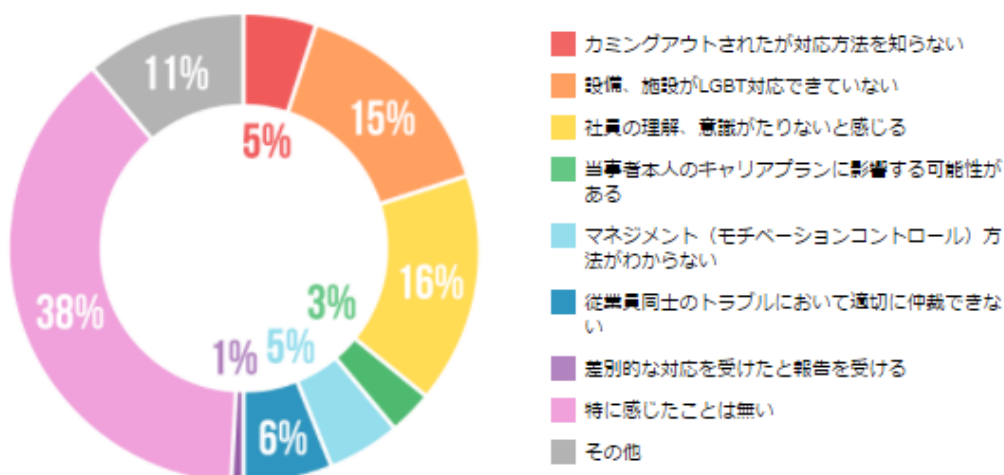
採用選考時にLGBTであることがわかった場合、採用に影響はありますか？



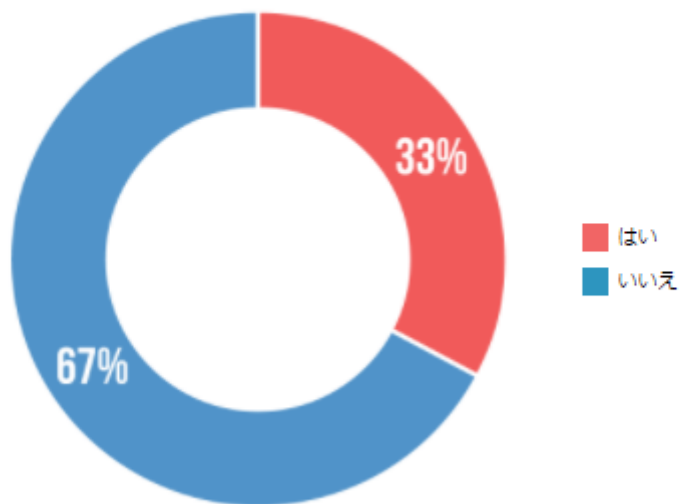
▼6割が問題に直面したことがあると回答するも、取り組みの必要性を感じている企業は33%

LGBT関連でこれまでに社内的な問題を感じたことがあると回答した企業は6割を超えました。おもに、「社員の理解、意識がたりないと感じる」(16%)、「設備、施設がLGBT対応できていない」(15%)、「カミングアウトされたが対応方法を知らない」(5%)などの意見が挙がりました。しかしながら、現在LGBTに関する取り組みが必要だと感じている企業は33%でした。

LGBT関連でこれまでに以下のような社内的な問題を感じたことはありますか？



現在、LGBTに関する取り組みが必要だと感じていますか？



【調査概要】

調査内容：転職希望者の意識調査

調査対象：ワークポート取引企業 [272 名]

調査期間：2017 年 1 月 18 日～2017 年 1 月 23 日

▼調査結果 掲載ページ（※詳細はこちらをご確認ください）

https://www.workport.co.jp/lp_wpcnt_divecity/

【ワークポートについて】

ワークポートは様々なジャンルの転職サービスを提供している総合人材転職エージェントです。転職活動の進捗が管理できる「e コンシェル」サービス、面接・書類作成アドバイスなど求職者の皆様の転職を成功に導くためのサポートを行います。ワークポートは「ひとつでも多くの可能性を追求できる、専門性の高い転職支援サービスを提供する」ことをお約束します。転職活動では様々な不安がつきまといますが、その不安を専門性の高い転職コンシェルジュが一つひとつ払拭していきます。

▼サービス紹介はこちら

<https://www.workport.co.jp/>

■本リリースに関するお問い合わせ

株式会社ワークポート 担当：清水

フリーダイヤル：0120-77-1049（代表）

E-mail：otoiawase@workport.jp

所在地：〒141-0032 東京都品川区大崎 1-2-2 アートヴィレッジ大崎セントラルタワー6・9F

URL：http://www.workport.co.jp/corporate/

facebook： <https://www.facebook.com/workport>